

うた芝居

おに♪ おに♪
おには おるか!?

うた芝居 ななかおに

原作/浜田廣介 演出/伊藤多恵 台本/山の音楽舎 作曲/川中美樹

ココロノヤサシイオニノウチデス
人間たちとなかよくくらしたいおには
戸口のまえに木の立てれをたてました
ところが・・・

いっぱい笑って ちよつぱり泣いて
うたとお芝居で織りなす
おもしろせつないうた芝居

うきうき どきどき
ざわざわ ちくん…
心のひだを より深く

人間の歌声と打楽器が創り出すシンプルな舞台。たった一枚の戸板の装置が回るたびに、村人の家、あかおにの家…と変化する。芝居の説明は極力少なめ。しかし、いえ、そのためか子どもたちの集中はすごい。芝居の中にたくさんちりばめられた言葉遊び、身体表現。単純な言葉と動きの積み重ねでストーリーが運び、説明の少なさが舞台の役者たちの演技を際だたせ、それが、嬉しい楽しい。ラストがまた良い。書き置き一枚であかおにの状況を知り、ウォーと泣き続けるあかおにを観ながら、悲しみや優しさで胸がいっぱいになる。良い芝居と出会った喜びは格別。(アンケートより)



作品詳細はこちら



今こそ、子どもたちに「生の舞台」を!

山の音楽舎のうた芝居は、お芝居と同じようにストーリーの展開と一緒に、ハラハラしたりワクワクしたり…そして、音楽の揺れに揺られてずきずきしたり、じーんとなったり…そんな風に、心がいっぱい動くのが、山の音楽舎のうた芝居です。

